

令和2年度 第1回学校運営協議会 議事録

校名	大阪府立園芸高等学校
校長名	真鍋 政明

開催日時	令和2年 6月30日(火)15:30~17:00
開催場所	大阪府立園芸高等学校 会議室
出席者(委員)	中桐貴生会長、小南修身委員、石田将人委員、西崎委員、梶師登委員 大坪真哉委員
出席者(学校)	真鍋校長、神教頭、橋詰首席、平尾首席、北之防農場長、中野FF科長、脇谷BS科 金沢普通科長、松川教諭、宮腰
傍聴者	0名
協議資料	次第 大阪府立園芸高等学校 学校運営協議会 実施要項運営要項 令和2年度 取組計画 進路概要報告 (補足資料を含め計3部) 令和2年度 学校経営計画及び学校評価 オンライン授業の評価 園芸高校ウェブページ 閲覧者数推移
備考	

議題等(次第順)

- 1、実施要項について
- 2、委員紹介
- 3、会長及び副会長の選出
- 4、協議

校長挨拶

- 1、実施要項について
会議時期についての説明
- 2、委員紹介
各委員の挨拶
- 3、会長及び副会長の選出
会長：中桐委員 副会長：小南委員
- 4、協議

(1) 令和2年度学校経営計画及び学校評価

学校：ベースは変わっていないが数値を指標に入れる形にしている。

(資料を元に説明：令和2年度 学校経営計画及び学校評価)

- ・職員会議などのペーパーレス化を進めているが、web会議の形式にしたいと考えている。
- ・フィリピンのスタディツアーはコロナの影響により今回は中止となった。

委員：①コロナの関係で学校はどのような対策を行っているのか。

- ②また就職関係には影響が出ていないか。
- ③遅刻者が多い気がするがどのように考えているのか。

学校：①に関してはオンライン授業の件と併せて後程説明します。

②本校の指定校求人確保している。

- ・心配は少ないが、例年と動きが異なる部分も出てくるのが予想されるので、

生徒の指導や体制をどうしていくかが課題となる

学校：③本校の遅刻者は多いと認識している。現状では他校と比べても下から2番目。

理由としては授業間遅刻もカウントするため、多く感じるが朝の遅刻だけでこの数字ではない。

しかし、多くなってきていることは認められる。

学校：全体的に厳しくしていることもある。

しかし、特定の生徒が複数回遅刻することが多く、全体的に多いわけではない。

委員：遅刻に関してはスマートフォンに原因があるのではないかと考える。

また、生徒が自分自身で先のことを考えることが減っているように感じる。

→生徒の意識を変えることが出来れば学校の価値が上がる。

委員：①美化意識について具体的な取り組みを知りたい。

②支援生徒に対する対応も教えてほしい。

学校：①まだまだ不十分と考えており、今後も生徒の意識を高めていく必要があると考えている。

②については支援コースで能力に合わせたカリキュラムに変えるなどの対応を行っている。

学校：公共の場を綺麗に使用する事が大切だと伝えており、下足室などの美化には気を配っている。

(2) 令和2年度各分掌等の取組目標

橋詰首席：教務部の取組計画（資料説明）

北之防農場長：農場部の取組計画（資料説明）

中野FF科長：FF科の取組計画（資料説明）

脇谷BS科長：BS科の取組計画（資料説明）

平尾首席：2年生の取組計画（資料説明）

委員：廃棄物の加工に関する話ですが、園芸と農家をつなぐ話にしても良いと思う。

①加工業者との連携は難しいと思うがどうなっているか。

学校：①ソース加工業者に話を通しており、話を進めているが、来年春を目途に活動している。

委員：生徒はどの程度関わることが出来るのか。

学校：販売や味に関しても関わらせたいと考えている。

現在は商品のコンセプトをどういうものにしたいかを定めるため課題として渡している。

学校：②基本的には全体で管理しているが、課題研究などで利用する場合は個人管理としている。

委員：部活としての活動もある中で、農業クラブの位置づけについてはどのように考えればいいのか。

学校：部活と農業クラブは関連しているわけではない。

部活で力を持ったり、活動を行っている生徒が農業クラブでも結果を出す傾向が強い。

委員：この部分の連携がうまく取れれば良いように感じましたが、連携が課題になるのか。

学校：課題になると考えている。

委員：ここまでの資料を見ると、全体的に手間をかけないレベルで修正が必要。

これは形式部分の話ではなく、必要な個所を揉み直すべきであると感じる。

委員：イメージを変えていくことは難しいが、学校側の努力はまだまだ必要になる。

(3) 令和元年度卒業生進路状況

学校：進路状況の説明（資料説明）

学校：就職する生徒が少ない学校が多い中、本校は就職希望が多いため企業ニーズも高い。

委員：大学に行かなければという風潮が強いが、進学しても、本人の為にならない場合も多い。

（大学のレベルについていけない、高校に通う感覚のまま時間を無駄にしている学生など）

委員：なぜ県外の農業大学校を選ぶ生徒が多いのか。

学校：金銭的なこともあるが、短大卒認定が貰えるかなども考慮に入れる学生が多いため。

学校：大阪は寮が無いいため、経済的負担がどうしても上がり通いにくい。

(4) 令和元年度外部での表彰等

委員：内容に関してはホームページに上がっているか。

学校：今はまだ対応中ですがアップする予定。

委員：以前よりホームページに力を入れてPRすることが重要。

(5) オンライン授業の導入

学校：GoogleClassroomの説明（画面を元に説明）

デバイスが無い生徒への対応について

学校ホームページと動画について

(6) その他

学校：学校ホームページの閲覧数に関する調査結果の説明

波はあるが、コロナによるアクセス数の増加は明らか。

リピート数は少ない。

委員：現状はホームページを見ること自体が普通になっているため、PRになることを載せるべき。

例えば閲覧者のピークは学内なのか学外なのかによっても変わってくる。

また、閲覧者が多いから載せるのではなく、多くなる前に載せるなどタイミングも重要。

委員：オンラインに関しては全生徒が対象なのか。

学校：全体の確認を行った。動画の確認が出来たら期限内にアンケートを返送する形式で進めてい

た。

総評

校長：今回取り上げられた学校PRに関しては、学校側としましても、広報に力を入れて進めたい。

次回の会議日程

日時

会場

大阪府立園芸高等学校 会議室